

# I 学校調査

## 1 小学校

### (1) 学校数

学校数は 989 校（本校 985 校、分校 4 校）で、前年度と比べ 2 校（△0.2%）減少しています。

設置者別にみると、国立が 2 校（構成比 0.2%）、公立が 986 校（同 99.7%）、私立が 1 校（同 0.1%）となっています。（表 1-1, 統計表第 1 表, 第 9 表）

類型別にみると、複式学級のある学校（複式学級のみを含む）は 32 校（構成比 3.2%）で、前年度と比べ 1 校（△3.0%）減少しています。75 条の学級のある学校（75 条の学級のみを含む）は 714 校（構成比 72.2%）で、前年度と比べ 36 校（5.3%）増加しています。（統計表第 6 表）

### (2) 学級数

学級数は 15,237 学級で、前年度に比べ 252 学級（1.7%）増加しています。

（表 1-1, 統計表第 1 表）

編制方式別にみると、単式学級が 14,034 学級（構成比 92.1%）、複式学級が 66 学級（同 0.4%）、75 条の学級が 1,137 学級（同 7.5%）となっています。

75 条の学級の内訳をみると、知的障害 652 学級（構成比 57.3%）、情緒障害 444 学級（同 39.1%）、病弱・身体虚弱 24 学級（同 2.1%）の順となっています。

（統計表第 9 表, 第 11 表）

増減の内容は、単式学級が 185 学級（1.3%）増加、複式学級が 9 学級（△12.0%）減少、75 条の学級が 76 学級（7.2%）増加しています。（表 1-1）

表 1-1 学校数・学級数の推移（小学校）

単位：校、学級

区 分	学校数			学級数			1校当たりの学級数			
	国立	公立	私立	単式	複式	75条	愛知県	全 国		
平成13年度	989	2	986	1	14,252	13,283	76	893	14.4	11.3
14	990	2	987	1	14,297	13,288	71	938	14.4	11.4
15	991	2	988	1	14,672	13,599	72	1,001	14.8	11.5
16	991	2	988	1	14,985	13,849	75	1,061	15.1	11.7
17	989	2	986	1	15,237	14,034	66	1,137	15.4	11.9

収容人員別学級数についてみると、31～35 人学級が 4,897 学級（構成比 32.1%）と最も多く、次いで 26～30 人学級が 4,056 学級（同 26.6%）、36～40 人学級が 2,777 学級（同 18.2%）の順となっています。（統計表第 8 表）

1 校当たりの学級数は 15.4 学級で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 11.9 学級となっています。（表 1-1）

### (3) 児童数

児童数は432,324人（男子221,065人、女子211,259人）で、前年度に比べ5,098人（1.2%）増加しています。昭和56年度のピーク時（684,239人）に比べ36.8%減少しているものの、4年連続の増加となっています。（表1-2, 統計表第1表）

表1-2 児童数・教員数（本務者）の推移（小学校）

単位：人，%

区 分	児童数			1学級当たりの児童数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの児童数		
	対前年度 増減率	男	女	愛知県	全 国		愛知県	全 国	
平成13年度	418,640	△ 0.0	214,033	204,607	29.4	26.9	20,565	20.4	17.9
14	419,519	0.2	214,308	205,211	29.3	26.7	20,712	20.3	17.6
15	423,204	0.9	216,139	207,065	28.8	26.5	21,029	20.1	17.5
16	427,226	1.0	218,493	208,733	28.5	26.3	21,301	20.1	17.4
17	432,324	1.2	221,065	211,259	28.4	26.1	21,662	20.0	17.3

市町村別にみると、51市町村で増加し、23市町村で減少しています。増加したのは名古屋市の663人を始めとして、春日井市、安城市の順であり、一方、減少したのは田原市の82人を始めとして、吉良町、瀬戸市の順となっています。また、地域別にみると、全ての地域で増加しています。（表1-3, 1-4）

表1-3 児童数増減上位市町村（小学校）

単位：人

表1-4 地域別小学校児童数

単位：人，%

市 町 村 名	対前年度増加数 (51市町村)	市 町 村 名	対前年度減少数 (23市町村)	区 分	平成17年度	平成16年度	対前年度増減	
							実 数	率
名古屋市	663	田原市	△ 82	総 数	432,324	427,226	5,098	1.2
春日井市	476	吉良町	△ 49	名古屋市	119,324	118,661	663	0.6
安城市	292	瀬戸市	△ 37	尾張地域	169,131	166,012	3,119	1.9
岡崎市	282	西枇杷島町	△ 33	西三河地域	97,090	95,840	1,250	1.3
刈谷市	271	岩倉市	△ 30	東三河地域	46,779	46,713	66	0.1

1学級当たりの児童数は28.4人で、前年度に比べ0.1人減少しています。なお、全国平均は26.1人となっています。（表1-2）

75条の学級在籍児童数は3,583人で、前年度に比べ232人（6.9%）増加しています。内訳をみると、知的障害2,087人（構成比58.2%）、情緒障害1,395人（同38.9%）、病弱・身体虚弱64人（同1.8%）の順となっています。（統計表第11表）

児童数のうち帰国子女数は498人で、平成15年度間に比べ1人増加しています。（付表第4表）

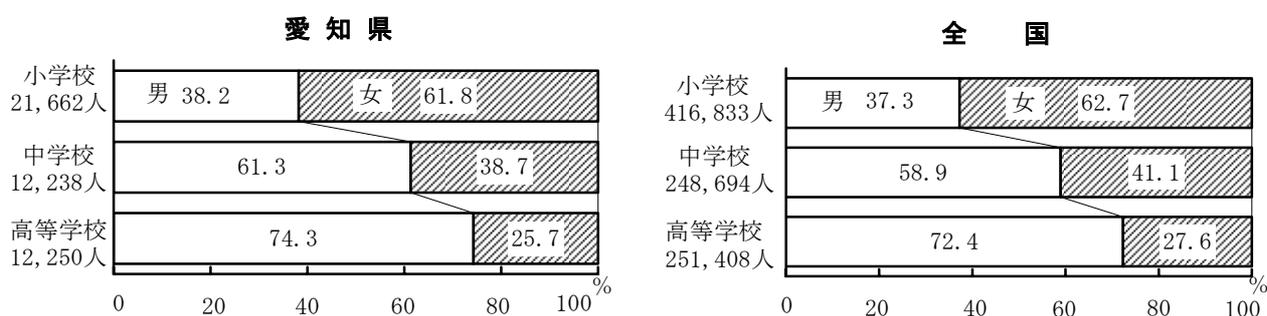
#### (4) 教員数

教員数は本務者 21,662 人、兼務者 1,309 人で、前年度に比べ本務者は 361 人(1.7%)、兼務者は 44 人(3.5%)それぞれ増加しています。(統計表第 1 表, 第 9 表)

本務教員は男子教員 8,283 人、女子教員 13,379 人となっています。女子教員の割合は 61.8%で、前年度に比べ 0.5 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 62.7%となっています。(図 1-1)

また、本務教員 1 人当たりの児童数は 20.0 人で、前年度と比べ 0.1 人(△0.5%)減少しています。なお、全国平均は、17.3 人となっています。(表 1-2)

図 1-1 教員男女別構成比(本務者)



#### (5) 理由別長期欠席児童数

平成 16 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席児童数は 3,244 人で、前年度間に比べ 32 人(1.0%)増加しています。これを理由別にみると、不登校 1,503 人(構成比 46.3%)、病気 1,208 人(同 37.2%)、その他 532 人(同 16.4%)の順となっています。

全児童数に占める長期欠席児童の割合は 0.76%で、前年度間と同数となっています。また、このうち「不登校」の割合は 0.35%で、0.01 ポイント上昇しています。

なお、全児童数に占める長期欠席児童の割合の全国平均は 0.82%、このうち「不登校」の割合の全国平均は 0.32%となっています。

(表 1-5, 統計表第 12 表)

表 1-5 理由別長期欠席児童数の推移(小学校)

単位: 人, %

区分	計	全児童数に占める割合		病気	経済的 理由	不登校	全児童数に占める割合		その他
		愛知県	全国				愛知県	全国	
平成12年度間	3,765	0.90	1.06	1,726	18	1,504	0.36	0.36	517
13	4,073	0.97	1.06	1,936	9	1,614	0.39	0.36	514
14	3,437	0.82	0.94	1,404	3	1,518	0.36	0.36	512
15	3,212	0.76	0.86	1,252	8	1,443	0.34	0.33	509
16	3,244	0.76	0.82	1,208	1	1,503	0.35	0.32	532

## 2 中学校

### (1) 学校数

学校数は 438 校（本校 435 校、分校 3 校）で、前年度に比べ 1 校（0.2%）増加しています。

設置者別にみると、国立が 3 校（構成比 0.7%）、公立が 413 校（同 94.3%）、私立が 22 校（同 5.0%）となっています。（表 1-6，統計表第 1 表）

類型別にみると、複式学級のある学校は 1 校（構成比 0.2%）で前年度と比べ 1 校（50.0%）減少となっています。75 条の学級のある学校（75 条の学級のみを含む）は 315 校（構成比 71.9%）で、前年度に比べ 5 校（1.6%）増加しています。（統計表第 6 表）

### (2) 学級数

学級数は 6,256 学級で、前年度に比べ 37 学級（0.6%）増加しています。

（統計表第 1 表）

編制方式別にみると、単式学級が 5,768 学級（構成比 92.2%）、複式学級が 1 学級（同 0.0%）、75 条の学級が 487 学級（同 7.8%）となっています。（統計表第 13 表）

75 条の学級の内訳をみると、知的障害 313 学級（構成比 64.3%）、情緒障害 165 学級（同 33.9%）、病弱・身体虚弱 7 学級（同 1.4%）の順となっています。

（統計表第 15 表）

増減の内容は単式学級が 23 学級（0.4%）増加、75 条の学級が 15 学級（3.2%）増加、複式学級が 1 学級（50.0%）減少となっています。（表 1-6）

表1-6 学校数・学級数の推移（中学校）

単位：校，学級

区分	学校数			学級数			1校当たりの学級数		
	国立	公立	私立	単式	複式	75条	愛知県	全国	
平成13年度	3	412	20	6,496	6,091	2	403	14.9	11.1
14	3	412	20	6,395	5,970	2	423	14.7	10.9
15	3	412	21	6,291	5,844	2	445	14.4	10.7
16	3	413	21	6,219	5,745	2	472	14.2	10.7
17	3	413	22	6,256	5,768	1	487	14.3	10.7

収容人員別学級数についてみると、36～40人学級が 3,116 学級（構成比 49.8%）と最も多く、次いで 31～35人学級が 2,111 学級（同 33.7%）、7人以下の学級が 478 学級（同 7.6%）の順となっています。これを設置者別にみると、公立では 36～40人学級が 3,003 学級（同 50.3%）、私立でも 36～40人学級が 91 学級（同 35.3%）と最も多くなっています。（統計表第 8 表）

1校当たりの学級数は 14.3 学級で、前年度と比べ 0.1 学級増加となっています。なお、全国平均は 10.7 学級となっています。（表 1-6）

### (3) 生徒数

生徒数は 206,435 人（男子 105,189 人、女子 101,246 人）で、前年度に比べ 90 人（0.0%）増加しています。また、昭和 61 年度のピーク時（348,339 人）に比べ 40.7% 減少して

いるものの、19年ぶりの増加となっています。(表1-7,統計表第1表)

表1-7 生徒数・教員数(本務者)の推移(中学校)

単位:人, %

区 分	生徒数				1学級当たりの生徒数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの生徒数	
	対前年度 増減率	男	女	愛知県	全 国	愛知県		全 国	
平成13年度	220,429	2.1	112,738	107,691	33.9	32.1	12,562	17.5	15.6
14	215,327	2.3	110,306	105,021	33.7	31.7	12,549	17.2	15.2
15	209,770	2.6	107,109	102,661	33.3	31.3	12,392	16.9	14.9
16	206,345	1.6	105,143	101,202	33.2	31.0	12,229	16.9	14.7
17	206,435	0.0	105,189	101,246	33.0	30.7	12,238	16.9	14.6

市町村別にみると、32市町村で増加し、40市町村で減少しています。増加したのは名古屋市の205人を始めとして、刈谷市、津島市、安城市の順であり、一方、減少したのは豊田市の183人を始めとして、岡崎市、西尾市、江南市の順となり、西枇杷島町及び音羽町が同数となっています。また、地域別にみると、名古屋市及び尾張地域で増加、西三河地域及び東三河地域で減少しています。(表1-8,1-9)

表1-8 生徒数増減上位市町村(中学校)

単位:人

表1-9 地域別中学校生徒数

単位:人, %

市町村名	対前年度増加数 (32市町村)	市町村名	対前年度減少数 (40市町村)	区 分	平成17年度	平成16年度	対前年度増減	
							実 数	率
名古屋市	205	豊田市	183	総 数	206,435	206,345	90	0.0
刈谷市	119	岡崎市	99	名古屋市	59,631	59,426	205	0.3
津島市	95	西尾市	73	尾張地域	78,049	77,643	406	0.5
安城市	84	江南市	69	西三河地域	45,811	46,027	216	0.5
日進市	83	碧南市	64	東三河地域	22,944	23,249	305	1.3

1学級当たりの生徒数は33.0人で、前年度と比べ0.2人減少しています。なお、全国平均は30.7人となっています。(表1-7)

75条の学級在籍生徒数は1,717人で、前年度に比べ66人(4.0%)増加しています。内訳をみると知的障害1,171人(構成比68.2%)、情緒障害523人(同30.5%)、病弱・身体虚弱15人(同0.9%)の順となっています。(統計表第15表)

生徒数のうち帰国子女数は171人で、平成15年度間に比べ25人減少しています。(付表第4表)

#### (4) 教員数

教員数は本務者12,238人、兼務者1,794人で、前年度に比べ本務者は9人(0.1%)、兼務者は250人(16.2%)それぞれ増加しています。

(統計表第1表,第13表)

本務教員は男子教員7,499人、女子教員4,739人となっています。女子教員の割合は38.7%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇しています。なお、全国平均は41.1%となっています。(図1-1)

また、本務教員1人当たりの生徒数は16.9人で、前年度と同数となっています。

なお、全国平均は 14.6 人となっています。（表 1-7）

### (5) 理由別長期欠席生徒数

平成 16 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席生徒数は 7,096 人で、前年度間に比べ 135 人（ 1.9% ）減少しています。これを理由別にみると、不登校 5,942 人（構成比 83.7% ）、病気 783 人（同 11.0% ）、経済的理由 11 人（同 0.2% ）の順となっています。

全生徒数に占める長期欠席生徒の割合は 3.44% で、前年度間に比べ 0.01 ポイント低下しています。また、このうち「不登校」の割合は 2.88% で、0.07 ポイント上昇しています。全児童数に占める長期欠席児童の割合の全国平均は 3.48%、このうち「不登校」の割合の全国平均は 2.73% となっています。（表 1-10, 統計表第 16 表）

表1-10 理由別長期欠席生徒数の推移（中学校）

単位：人，%

区 分	計	全生徒数に占める割合		病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	全生徒数に占める割合		そ の 他
		愛知県	全 国				愛知県	全 国	
平成12年度間	8,134	3.61	3.55	1,275	73	6,203	2.76	2.63	583
13	8,437	3.83	3.72	1,251	56	6,609	3.00	2.81	521
14	7,549	3.51	3.52	971	22	6,081	2.82	2.73	475
15	7,231	3.45	3.50	874	22	5,897	2.81	2.73	438
16	7,096	3.44	3.48	783	11	5,942	2.88	2.73	360

## 3 高等学校

### (1) 学校数

学校数は 233 校（本校 229 校、分校 4 校）で、前年度に比べ 3 校（1.3%）増加しています。設置者別にみると、国立が 2 校（構成比 0.9%）、公立が 175 校（同 75.1%）、私立が 56 校（同 24.0%）となっています。

（表 1-11, 統計表第 1 表, 第 17 表）

課程別にみると、全日制が 199 校（構成比 85.4%）、定時制が 3 校（同 1.3%）、全・定併置が 31 校（同 13.3%）となっています。

（表 1-11, 統計表第 20 表）

表1-11 学校数の推移（高等学校）

単位：校

区 分	総 数	設 置 者 別			課 程 別		
		国 立	公 立	私 立	全 日 制	定 時 制	全・定併置
平成13年度	232	2	174	56	196	4	32
14	231	2	173	56	196	3	32
15	231	2	173	56	197	3	31
16	230	2	172	56	196	3	31
17	233	2	175	56	199	3	31

### (2) 学科数

学科数は 339 学科で、前年度に比べ 2 学科（0.6%）増加しています。

学科別にみると、普通科が 205 学科（構成比 60.5%）と最も多く、次いで商業科 42 学科（同 12.4%）、工業科 35 学科（同 10.3%）、家庭科 25 学科（同 7.4%）の順となっています。（図 1-2, 統計表第 21 表）

### (3) 生徒数

生徒数は 195,452 人（男子 98,649 人、女子 96,803 人）で、前年度に比べ 4,355 人（△2.2%）減少しています。また、平成元年度のピーク時（310,411 人）に比べ 37.0% 減少し 16 年連続の減少となっています。（表 1-12）

表1-12 生徒数・教員数（本務者）の推移（高等学校）

区 分	生徒数						教員数 (本務者)	本務教員 1 人当たりの生徒数	
	対前年度 増減率	男	女	全日制	定時制	愛知県		全 国	
平成13年度	△ 1.4	105,663	106,483	207,081	5,065	12,764	16.6	15.2	
14	△ 2.9	102,774	103,259	200,813	5,220	12,561	16.4	15.0	
15	△ 1.7	101,736	100,889	197,300	5,325	12,435	16.3	14.7	
16	△ 1.4	100,608	99,199	194,510	5,297	12,394	16.1	14.5	
17	△ 2.2	98,649	96,803	190,311	5,141	12,250	16.0	14.3	

単位：人，%

設置者別にみると、国立が 907 人（構成比 0.5%）、公立が 133,055 人（同 68.1%）、私立が 61,490 人（同 31.5%）となっています。（統計表第 1 表）

課程別にみると、全日制は 190,311 人、定時制は 5,141 人で、前年度に比べ全日制は 4,199 人（△2.2%）、定時制は 156（△2.9%）それぞれ減少しています。

（表 1-12, 統計表第 18 表）

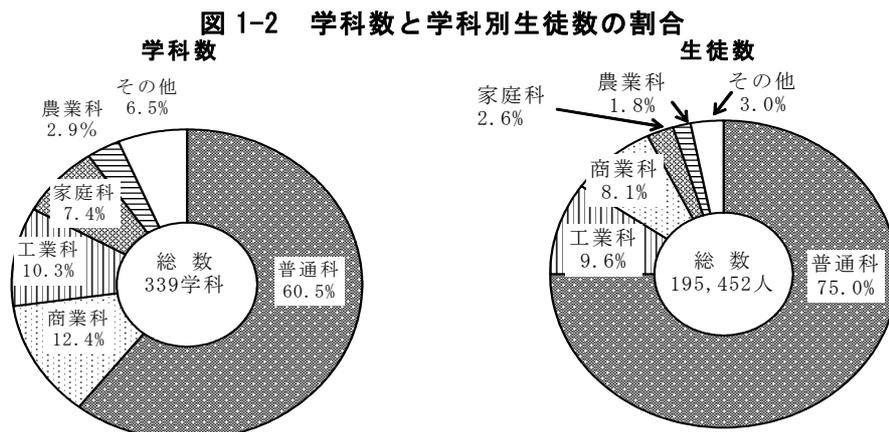
学科別にみると、普通科 146,562 人（構成比 75.0%）、工業科 18,767 人（同 9.6%）、商業科 15,776 人（同 8.1%）、家庭科 4,994 人（同 2.6%）の順となっています。

（図 1-2, 統計表第 19 表）

本科の入学状況をみると、入学者総数は 64,565 人（男子 32,558 人、女子 32,007 人）で、前年度に比べ 2,808 人（△4.2%）減少しています。

入学者を課程別にみると、全日制は 62,773（男子 31,516 人、女子 31,257 人）で、前年度に比べ 2,706 人（△4.1%）、定時制は 1,792 人（男子 1,042 人、女子 750 人）で、前年度に比べ 102 人（△5.4%）それぞれ減少しています。また、全日制の入学者のうち国・公立入学者は 42,397 人で、入学者総数の 65.7% を占めています。入学者のうち他県所在の中学校卒業者は 799 人（全日制 705 人、定時制 94 人）で入学者総数の 1.2%（前年度 1.2%）を占めています。入学者のうち過年度中学校卒業者は 703 人で、入学者総数の 1.1%（前年度 1.1%）を占めています。（統計表第 22 表）

帰国子女数は 115 人で、平成 15 年度間に比べ 3 人減少しています。（付表第 4 表）



#### (4) 教員数

教員数は本務者 12,250 人、兼務者 4,507 人で、前年度に比べ本務者は 144 人(△1.2%)減少、兼務者は 417 人(10.2%)増加しています。(統計表第 1 表, 第 17 表)

本務教員は男子教員 9,101 人、女子教員 3,149 人となっています。女子教員の割合は 25.7%で、前年度に比べ 0.5 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 27.6%となっています。

(図 1-1)

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は 16.0 人で、前年度に比べ 0.1 人減少しています。なお、全国平均は 14.3 人となっています。(表 1-12)

### 4 通信制高等学校

#### (1) 学校数

学校数は 7 校(県立 2 校、私立 5 校)で、前年度と同数となっています。通信教育のみを行う独立校は 1 校で、全日制又は定時制の課程との併置校は 6 校となっています。(表 1-13, 統計表第 1 表)

#### (2) 生徒数

生徒数は 7,269 人(男子 4,813 人、女子 2,456 人)で、前年度に比べ 344 人(△4.5%)減少しています。(表 1-13, 統計表第 1 表, 第 23 表)

学科別にみると、普通科 4,778 人(構成比 65.7%)、商業科 1,339 人(同 18.4%)、工業科 1,152 人(同 15.8%)の順となっています。(統計表第 24 表)

入学者は本年度が 2,252 人(男子 1,537 人、女子 715 人)、前年度間が 2,357 人(男子 1,626 人、女子 731 人)となっています。(統計表第 25 表)

また、前年度間の退学者は 618 人(男子 434 人、女子 184 人)となっています。

(統計表第 25 表)

#### (3) 教員数

教員数は本務者 86 人、兼務者 51 人で、前年度に比べ本務者は 1 人(1.2%)増加、兼務者は 13 人(△20.3%)減少しています。(統計表第 1 表, 第 2 表)

本務教員は男子教員 68 人、女子教員 18 人で、女子教員の割合は 20.9%となっています。(表 1-13)

表1-13 学校数・生徒数及び教員数の推移(通信制高等学校)

区分	学校数			生徒数	対前年度 増減率	生徒数		教員数 (本務者)	教員数		本務教員一人 当たりの 生徒数
	学校数	県立	私立			男	女		男	女	
平成13年度	7 (1)	2 (1)	5	8,900	△ 0.6	6,051	2,849	103	79	24	86.4
14	7 (1)	2 (1)	5	8,633	△ 3.0	5,853	2,780	99	78	21	87.2
15	7 (1)	2 (1)	5	7,976	△ 7.6	5,397	2,579	92	74	18	86.7
16	7 (1)	2 (1)	5	7,613	△ 4.6	5,103	2,510	85	65	20	89.6
17	7 (1)	2 (1)	5	7,269	△ 4.5	4,813	2,456	86	68	18	84.5

注：( ) 書きは通信教育のみを行う学校を再掲

## 5 大 学

### (1) 学校数

学校数は49校で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立が4校、公立が4校、私立が41校となっています。

(統計表第1表, 第26表)

### (2) 学生数

学生数は184,596人(男子108,545人、女子76,051人)で、前年度に比べ1,972人(1.1%)増加しています。

設置者別にみると、国立が29,440人(構成比15.9%)、公立が8,434人(同4.6%)、私立が146,722人(同79.5%)となっています。

(統計表第1表)

学生数の内訳は、学部が166,487人(構成比90.2%)、大学院が14,486人(同7.8%)、専攻科が15人(同0.0%)、別科が375人(同0.2%)、聴講生・選科生・研究生等が3,233人(同1.8%)となっています。これを前年度と比べると、学部が1,394人(0.8%)、大学院が504人(3.6%)、専攻科が2人(15.4%)、別科が18人(5.0%)、聴講生・選科生・研究生等が54人(1.7%)それぞれ増加しています。

(表1-14, 統計表第26表)

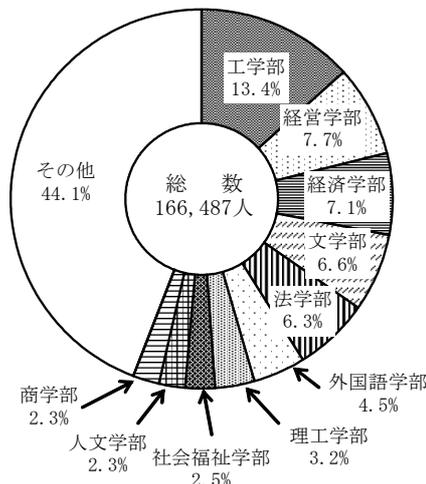
表1-14 学生数の推移(大学)

区 分	計	対前年 年度増減 率	男	女	学 部	大学院	専攻科	別 科	聴 講 生 ・ 選 科 生 ・ 研 究 生 等
平成13年度	176,974	2.5	108,014	68,960	160,614	12,886	25	332	3,117
14	180,355	1.9	108,529	71,826	163,798	13,012	24	366	3,155
15	182,256	1.1	108,478	73,778	165,389	13,329	12	391	3,135
16	182,624	0.2	107,892	74,732	165,093	13,982	13	357	3,179
17	184,596	1.1	108,545	76,051	166,487	14,486	15	375	3,233

単位：人，%

学部別学生数をみると、工学部が22,270人(構成比13.4%)と最も多く、次いで経営学部12,822人(同7.7%)、経済学部11,817人(同7.1%)、文学部10,929人(同6.6%)、法学部10,560人(同6.3%)の順となっています。また、学部学生のうち男子学生の割合は57.8%で、前年度に比べ0.3ポイント低下しています。(図1-3, 統計表第27表)

図1-3 学部別学生数の割合(大学・学部)



大学院学生数は、修士課程（修士課程及び博士前期課程）が9,911人、博士課程（博士後期課程及び医・歯学の博士課程）が4,050人、専門職学位課程が525人で、前年度に比べ修士課程で120人（1.2%）、博士課程で120人（3.1%）、専門職学位課程で264人（101.1%）それぞれ増加しています。（統計表第26表）

専攻別にみると、修士課程、博士課程とも工学研究科がそれぞれ3,588人（構成比36.2%）、686人（構成比16.9%）と最も多くなっています。

（統計表第30表）

学部の入学状況をみると、入学志願者数は221,222人となり、前年度に比べ7,913人（3.7%）増加、入学者数は41,055人となり、前年度に比べ1,102人（2.8%）増加しており、入学倍率は5.4倍となり、前年度に比べ0.1ポイント上昇しています。

（表1-15, 統計表第28表, 第29表）

入学者のうち高等学校新卒者の占める割合は87.5%で、前年度に比べ0.9ポイント上昇しています。また、学部別にみると、現代マネジメント学部（99.0%）、保育学部（97.8%）、現代文化学部（97.5%）、文化情報学部（97.5%）などが高くなっているのに対し、薬学部（67.1%）、国際文化学部（65.0%）、美術学部（52.3%）、医学部（専門課程）（35.1%）などが低くなっています。

（図1-4, 統計表第29表）

また、県内大学の入学者に占める県内高等学校出身者の割合は60.6%で、前年度に比べ0.2ポイント上昇しています。これを設置者別にみると、国立が58.7%、公立が61.2%、私立が60.8%となっています。（表1-16, 統計表第29表）

表1-15 入学志願者数及び入学者数の推移

単位：人、%

区分	入学志願者数	入学者数	高等学校新卒者数		入学倍率
			高等学校新卒者数	構成比	
平成13年度	205,437	40,344	35,456	87.9	5.1
14	220,003	41,199	35,699	86.7	5.3
15	218,089	39,901	34,418	86.3	5.5
16	213,309	39,953	34,597	86.6	5.3
17	221,222	41,055	35,930	87.5	5.4

図1-4 高等学校新卒者の占める割合の高い学部及び低い学部

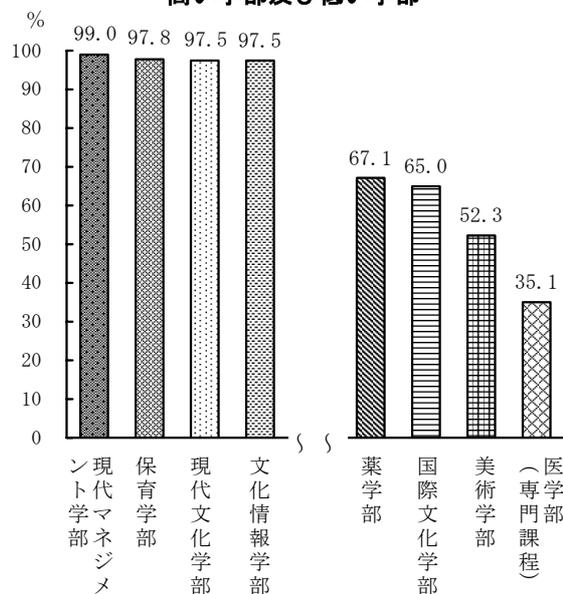


表1-16 設置者別入学者数（大学・学部）

単位：人、%

区分	入学者数	県内高等学校出身者数		男	県内高等学校出身者数		女	県内高等学校出身者数	
		県内高等学校出身者数	構成比		県内高等学校出身者数	構成比		県内高等学校出身者数	構成比
計	41,055	24,866	60.6	23,228	13,589	58.5	17,827	11,277	63.3
国立	4,407	2,585	58.7	3,089	1,748	56.6	1,318	837	63.5
公立	1,697	1,038	61.2	601	345	57.4	1,096	693	63.2
私立	34,951	21,243	60.8	19,538	11,496	58.8	15,413	9,747	63.2
全国	603,760	242,017	40.1	358,235	138,350	38.6	245,525	103,667	42.2

### (3) 教員数

教員数は、本務者 9,349 人、兼務者 11,105 人で、前年度に比べ、本務者は 172 人(1.9%)、兼務者は 292 人(2.7%)それぞれ増加しています。設置者別にみると、国立が本務者 2,696 人、兼務者 2,092 人、公立が本務者 841 人、兼務者 1,348 人、私立が本務者 5,812 人、兼務者 7,665 人となっています。

(統計表第 1 表, 第 3 表)

また、本務教員 1 人当たりの学生数は、国立が 10.9 人、公立が 10.0 人、私立が 25.2 人となっています。

## 6 短期大学

### (1) 学校数

学校数は 32 校で、前年度に比べ 1 校 (△3.0%) 減少しています。設置者別にみると、私立が 32 校となっています。

(統計表第 1 表, 第 31 表)

### (2) 学生数

学生数は 13,547 人 (男子 983 人、女子 12,564 人) で、前年度に比べ 687 人 (△4.8%) 減少しています。(統計表第 1 表)

学生数の内訳は本科が 13,302 人 (構成比 98.2%)、専攻科が 196 人 (同 1.4%)、聴講生・選科生・研究生等が 49 人 (同 0.4%) となっています。これを前年度と比べると、本科が 632 人 (△4.5%)、専攻科が 26 人 (△11.7%)、聴講生・選科生・研究生等が 29 人 (△37.2%) それぞれ減少しています。(表 1-17, 統計表第 31 表)

表1-17 学生数の推移 (短期大学)

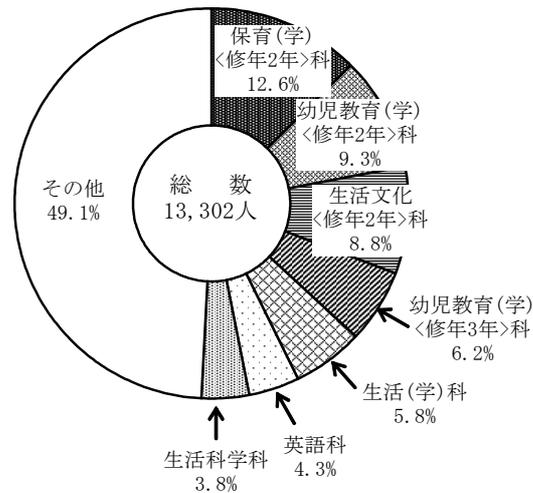
区 分	計	対前年度 増減率	単位：人，%					聴講生・ 選科生・ 研究生等
			男	女	本 科	専攻科	別 科	
平成13年度	17,692	△ 20.5	931	16,761	17,336	234	32	90
14	15,963	△ 9.8	900	15,063	15,673	216	-	74
15	15,005	△ 6.0	1,046	13,959	14,706	200	-	99
16	14,234	△ 5.1	1,092	13,142	13,934	222	-	78
17	13,547	△ 4.8	983	12,564	13,302	196	-	49

本科学生数を学科別にみると、保育 (学) <修年 2 年>科が 1,676 人 (構成比 12.6%) と最も多く、次いで幼児教育 (学) <修年 2 年>科が 1,240 人 (同 9.3%)、生活文化<修年 2 年>科が 1,174 人 (同 8.8%) の順となっています。また、本科在学者のうち女子学生の割合は 92.8%で、前年度に比べ 0.4 ポイント上昇しています。(図 1-5, 統計表第 32 表)

本科の入学状況をみると、入学志願者は 15,556 人となり、前年度に比べ 495 人 (3.3%) 増加、入学者は 6,278 人となり、前年度に比べ 273 人 (△4.2%) 減少しています。入学倍率は 2.5 倍となり、前年度に比べ 0.2 ポイント上昇しています。

(統計表第 33 表, 第 34 表)

図1-5 学科別学生数の割合（短期大学・本科）



また、県内短期大学入学者に占める県内高等学校出身者の割合は 70.3%で、前年度に比べ 0.5 ポイント上昇しています。

入学者のうち高等学校新卒者の割合は 95.0%で、前年度に比べ 0.4 ポイント上昇しています。（表 1-18, 統計表第 34 表）

表1-18 設置者別入学者数（短期大学・本科）

単位：人、%

区分	入学者数	県内高等学校出身者数		男	県内高等学校出身者数		女	県内高等学校出身者数	
		数	構成比		数	構成比		数	構成比
計	6,278	4,411	70.3	434	291	67.1	5,844	4,120	70.5
私立	6,278	4,411	70.3	434	291	67.1	5,844	4,120	70.5
全国	99,431	61,540	61.9	12,474	6,567	52.6	86,957	54,973	63.2

### (3) 教員数

教員数は、本務者 690 人、兼務者 1,472 人で、前年度に比べ、本務者は 37 人（△5.1%）、兼務者は 1 人（△0.1%）それぞれ減少しています。（統計表第 1 表, 第 3 表）

また、本務教員 1 人当たりの学生数は 19.6 人となっています。

## 7 盲学校・聾学校・養護学校

### (1) 学校数

学校数は盲学校が2校（公立のみ）、聾学校が5校（公立のみ）、養護学校は23校（国立1校、公立22校）で前年度と同数となっています。

（表1-19, 統計表第1表, 第36表）

表1-19 学校数・学級数・在学者数の推移（盲・聾・養護学校）

単位：校, 学級, 人

区 分	総 数			盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数
平成13年度	29	1,122	5,276	2	54	211	5	121	530	22	947	4,535
14	29	1,119	5,312	2	51	212	5	117	503	22	951	4,597
15	29	1,147	5,426	2	53	218	5	116	525	22	978	4,683
16	30	1,194	5,585	2	56	219	5	115	524	23	1,023	4,842
17	30	1,240	5,752	2	58	216	5	125	533	23	1,057	5,003

### (2) 学級数

学級数は盲学校が58学級、聾学校が125学級、養護学校が1,057学級で、前年度と比べ盲学校が2学級（3.6%）、聾学校が10学級（8.7%）、養護学校が34学級（3.3%）それぞれ増加しています。（表1-19, 統計表第1表, 第36表）

### (3) 在学者数

在学者数は盲学校が216人、聾学校が533人、養護学校が5,003人で、前年度に比べ盲学校が3人（△1.4%）減少、聾学校が9人（1.7%）、養護学校が161人（3.3%）それぞれ増加しています。（表1-19, 統計表第1表, 第36表）

通学状況は、家庭からの通学者が5,138人（構成比89.3%）と最も多く、次いで児童福祉施設からが300人（同5.2%）、寄宿舎からが205人（同3.6%）の順となっています。（統計表第38表）

### (4) 教員数

教員数は、盲学校が本務者134人、兼務者24人、聾学校が本務者273人、兼務者41人、養護学校が本務者2,368人、兼務者100人で、前年度に比べ本務者は、盲学校が4人（3.1%）、聾学校が23人（9.2%）、養護学校が111人（4.9%）それぞれ増加しています。（統計表第1表, 第36表）

本務教員1人当たりの在学者数は、盲学校が1.6人、聾学校が2.0人、養護学校が2.1人となっています。これを前年度と比べると、盲学校及び聾学校は0.1人減少、養護学校は同数となっています。

## 8 幼稚園

### (1) 園数

幼稚園数は533園で、前年度と比べ1園（0.2%）増加しています。

設置者別にみると、国立が1園、公立が102園、私立が430園となっており、私立が全体の80.7%（前年度80.3%）を占めています。

私立を設置者別にみると、学校法人立が 415 園、宗教法人立が 11 園、個人立が 4 園となっています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

## (2) 学級数

学級数は 4,033 学級で、前年度に比べ 4 学級（△0.1%）減少しています。

設置者別にみると、国立が 5 学級、公立が 558 学級、私立が 3,470 学級で、前年度と比べ国立が同数、公立が 14 学級（△2.4%）減少、私立が 10 学級（0.3%）増加となっています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

1 園当たりの学級数は 7.6 学級で、前年度と同数となっています。

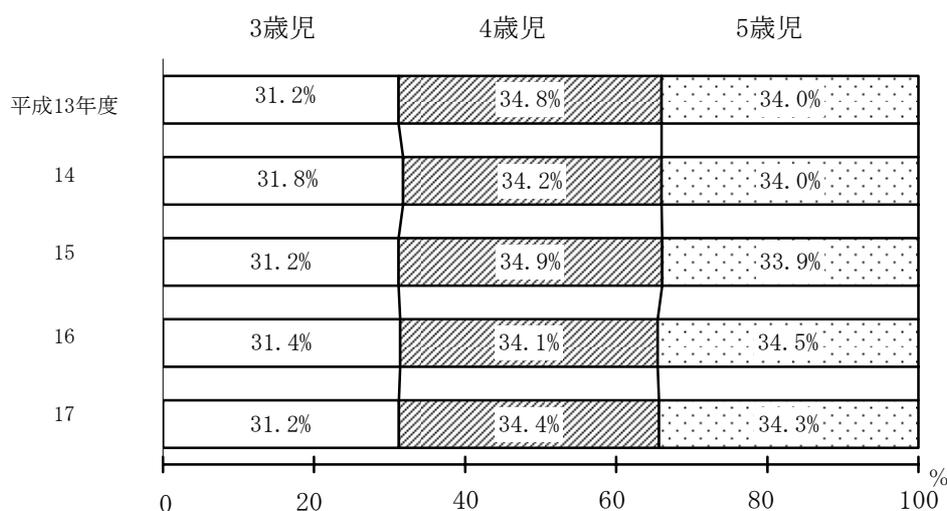
## (3) 園児数

園児数は、103,471 人（男子 52,237 人、女子 51,234 人）で、前年度に比べ 1,091 人（△1.0%）減少しています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

年齢別にみると、3 歳児が 32,329 人（構成比 31.2%）、4 歳児が 35,631 人（同 34.4%）、5 歳児が 35,511 人（同 34.3%）で、前年度と比べ 3 歳児が 495 人（△1.5%）、4 歳児が 7 人（△0.0%）、5 歳児が 589 人（△1.6%）それぞれ減少しています。

（図 1-6, 統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

図1-6 園児数の年齢別構成比の推移（幼稚園）



1 園当たりの園児数は 194.1 人で、前年度に比べ 2.4 人減少し、1 学級当たりの園児数は 25.7 人で、前年度と比べ 0.2 人減少となっています。

設置者別にみると、国・公立が 13,599 人（構成比 13.1%）、私立が 89,872 人（同 86.9%）となっています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

## (4) 教員数

教員数は本務者 5,571 人、兼務者 670 人で、前年度に比べ本務者は 33 人（0.6%）、兼務者は 78 人（13.2%）それぞれ増加しています。教育補助員（別掲）は本務者 18 人、兼務者 91 人で、前年度に比べ本務者は 10 人（△35.7%）減少、兼務者は 4 人（4.6%）増加しています。本務教員（本務の教育補助員を含む）1 人当たりの園児数は 18.5 人で、前年度に比べ 0.3 人減少しています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

## 9 専修学校

### (1) 学校数

学校数は193校で、前年度に比べ3校（△1.5%）減少しています。

設置者別にみると、公立が16校、私立が177校となっています。（表1-20, 統計表第1表, 第42表）

### (2) 学科数

学科数は608学科で、前年度と比べ5学科（△0.8%）減少しています。

学科分野別にみると、工業関係131学科（構成比21.5%）、文化・教養関係113学科（同18.6%）、医療関係111学科（同18.3%）、服飾・家政関係92学科（同15.1%）の順となっています。（統計表第43表）

### (3) 生徒数

生徒数は52,833人（男子26,227人、女子26,606人）で、前年度に比べ2,264人（△4.1%）減少しています。（統計表第1表, 第44表）

課程別にみると、高等課程が7,242人（構成比13.7%）、専門課程が45,484人（同86.1%）、一般課程が107人（同0.2%）で、前年度に比べ高等課程が282人（△3.7%）、専門課程が1,959人（△4.1%）、一般課程が23人（△17.7%）それぞれ減少しています。（表1-20, 統計表第44表）

学科分野別にみると、最も多いのは工業関係学科12,203人（構成比23.1%）で、次いで医療関係学科12,053人（同22.8%）、文化・教養関係学科8,357人（同15.8%）、衛生関係学科6,875人（同13.0%）の順となっています。

（図1-7, 統計表第44表）

平成16年度間の卒業生数は、22,226人で、前年度間に比べ1,036人（4.9%）増加しています。（統計表第44表）

### (4) 教員数

教員数は、本務者2,673人、兼務者6,012人で、前年度に比べ本務者は55人（2.1%）、兼務者は5人（0.1%）それぞれ増加しています。（統計表第1表, 第42表）

表1-20 設置者別学校数・課程別生徒数の推移（専修学校）

単位:校、人、%

区分	学校数	設置者別			生徒数	対前年度 増減率	男	女	高等課程	専門課程	一般課程
		国立	公立	私立							
平成13年度	207	4	21	182	52,391	△1.6	25,871	26,520	8,820	43,448	123
14	207	4	21	182	52,570	0.3	25,659	26,911	8,218	44,243	109
15	200	4	19	177	55,079	4.8	26,934	28,145	7,762	47,196	121
16	196	—	18	178	55,097	0.0	27,348	27,749	7,524	47,443	130
17	193	—	16	177	52,833	△4.1	26,227	26,606	7,242	45,484	107

図1-7 学科分野別生徒数（専修学校）

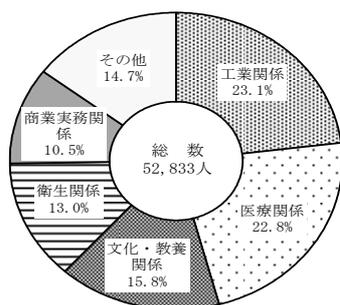
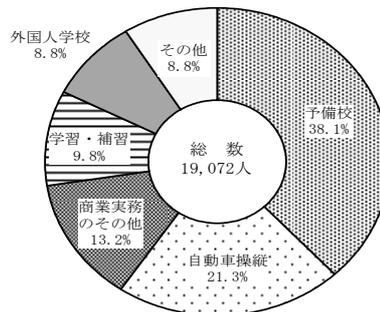


図1-8 課程別生徒数（各種学校）



## 10 各種学校

### (1) 学校数

学校数は130校で、前年度に比べ3校（△2.3%）減少しています。

（表1-21，統計表第1表，第45表）

なお、設置者はすべて私立となっています。

### (2) 課程数

課程数は157課程で、前年度に比べ9課程（△5.4%）減少しています。

課程別にみると、商業実務関係のうちその他（珠算など）57課程（構成比36.3%）、予備校21課程（同13.4%）、外国人学校19課程（同12.1%）、和洋裁15課程（同9.6%）の順となっています。（統計表第46表）

### (3) 生徒数

生徒数は19,072人（男子10,865人、女子8,207人）で、前年度に比べ2,051人（△9.7%）減少しています。（表1-21，統計表第1表，第45表，第46表）

課程別にみると、最も多いのは予備校課程7,259人（構成比38.1%）で、次いで自動車操縦課程4,066人（同21.3%）、商業実務関係のうちその他（珠算など）の課程2,513人（同13.2%）、学習・補習課程1,876人（同9.8%）の順となっています。

（図1-8，統計表第46表）

平成16年度間の卒業生数は30,329人で、前年度に比べ1,874人（△5.8%）減少しています。（統計表第46表）

表1-21 学校数及び生徒数の推移（各種学校）

単位：校，人，%

区分	学校数	生徒数	対前年度増減率	男	女
平成13年度	153	23,880	△ 3.7	13,458	10,422
14	151	23,994	0.5	13,870	10,124
15	138	22,785	△ 5.0	13,312	9,473
16	133	21,123	△ 7.3	12,206	8,917
17	130	19,072	△ 9.7	10,865	8,207

### (4) 教員数

教員数は本務者846人、兼務者592人で、前年度に比べ本務者は19人（△2.2%）、兼務者は1人（△0.2%）それぞれ減少しています。（統計表第1表，第45表）

## Ⅱ 卒業後の状況調査

### 1 中学校

#### (1) 卒業生数

卒業生数は 69,254 人（男子 35,375 人、女子 33,879 人）で、前年に比べ 2,832 人（△3.9%）減少して 6 年連続の減少となりました。

進路別にみると、高等学校等進学者 66,953 人（構成比 96.7%）、死亡・不詳等 1,094 人（同 1.6%）、就職者 851 人（同 1.2%）、専修学校（高等課程）進学者 185 人（同 0.3%）、専修学校（一般課程）等入学者 93 人（同 0.1%）、公共職業能力開発施設等入学者 78 人（同 0.1%）の順となっています。

なお、高等学校等進学者、専修学校（高等課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者 65 人（卒業生の 0.1%）を含む就職者総数は 916 人となっています。（表 2-1、統計表第 47 表）

**表 2-1 進路別卒業生数（中学校）**

単位：人、%

区 分	平成 17 年 3 月			平成 16 年 3 月			
	数	構成比	対前年増減率	数	構成比	対前年増減率	
総 数 (A+B+C+D+E+F+G)	69,254	100.0	△ 3.9	72,086	100.0	△ 2.3	
A 高等学校等進学者	66,953	96.7	△ 3.9	69,695	96.7	△ 2.0	
高等学校	本 科	66,289	95.7	△ 4.0	69,038	95.8	△ 2.0
	全日制	62,629	90.4	△ 4.1	65,335	90.6	△ 1.8
	定時制	1,149	1.7	△ 6.4	1,227	1.7	△ 4.9
	通信制	2,511	3.6	1.4	2,476	3.4	△ 7.3
中等教育 学校 後期課程	別 科	-	-	-	-	-	-
	本 科	-	-	-	-	-	-
	全日制	-	-	-	-	-	-
	定時制	-	-	-	-	-	-
通信制	-	-	-	-	-	-	
別 科	-	-	-	-	-	-	
高 等 専 門 学 校	230	0.3	0.4	229	0.3	△ 6.5	
盲・聾・高等部本科	434	0.6	1.4	428	0.6	1.7	
養護学校高等部別科	-	-	-	-	-	-	
B 専修学校（高等課程）進学者	185	0.3	△ 3.1	191	0.3	△ 2.1	
C 専修学校（一般課程）等入学者	93	0.1	△ 4.1	97	0.1	△ 21.1	
専修学校（一般課程）	30	0.0	15.4	26	0.0	△ 48.0	
各 種 学 校	63	0.1	△ 11.3	71	0.1	△ 2.7	
D 公共職業能力開発施設等入学者	78	0.1	11.4	70	0.1	△ 23.1	
E 就 職 者	851	1.2	0.1	850	1.2	△ 4.7	
F 上記以外の者、G 死亡・不詳	1,094	1.6	△ 7.5	1,183	1.6	△ 11.8	
再 Aのうち通信制課程を除く進学者	64,442	93.1	△ 4.1	67,219	93.2	△ 1.8	
Aのうち就職している者	62	0.1	82.4	34	0.0	△ 49.3	
Bのうち就職している者	2	-	-	-	-	-	
Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	
掲 Dのうち就職している者	1	-	-	-	-	-	
高等学校等入学志願者	64,982			67,909			
高等学校等進学率	96.7			96.7			
男	96.2			96.2			
女	97.2			97.1			
通信制課程を除く 高等学校等進学率	93.1			93.2			
男	92.1			92.2			
女	94.0			94.3			
就 職 率	1.3			1.2			
男	1.9			1.8			
女	0.7			0.6			

注：高等学校等入学志願者には、通信制高等学校入学志願者を含みません。

## (2) 進路状況

### ア 高等学校等進学者数

高等学校等進学者数は66,953人(男子34,030人、女子32,923人)で、前年に比べ2,742人(△3.9%)減少しています。

進学先をみると、高等学校全日制62,629人(高等学校等進学者数の93.5%)、同通信制2,511人(同3.8%)、同定時制1,149人(同1.7%)、盲・聾・養護学校高等部本科434人(同0.6%)、高等専門学校230人(0.3%)の順となっています。

高等学校等進学率は96.7%で前年と同数となっています。男女別にみると、男子が96.2%、女子が97.2%で、前年に比べ男子が同数、女子が0.1ポイント上昇しています。

なお、全国平均は97.6%(男子97.3%、女子97.9%)となっています。(表2-1, 図2-1, 統計表第47表)

地域別にみると、名古屋市が96.9%で最も高く、次いで東三河地域が96.7%、尾張地域が96.6%、西三河地域が96.5%となっています。(表2-2)

図2-1 愛知県と全国の高等学校等進学率の推移(中学校)

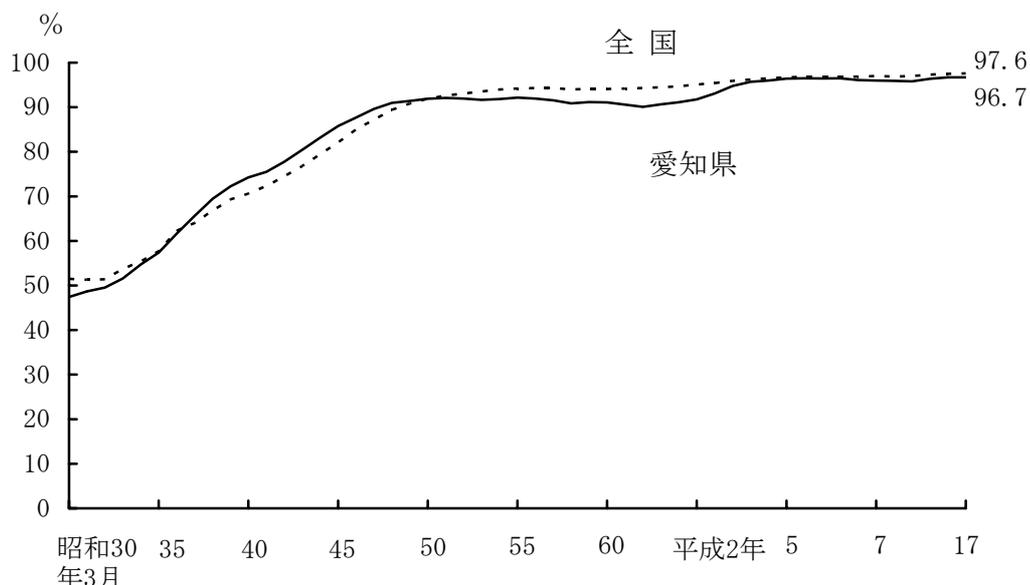


表2-2 地域別高等学校等進学者数(中学校)

区 分	卒業者数	高等学校等 進学者数	高等学校等 進学率	対 前 年 増 減					
				卒業者数		高等学校等進学者		高等学校等	
				実 数	率	実 数	率	進学率	
総 数	69,254	66,953 (64,442)	96.7 (93.1)	△2,832	△ 3.9	△2,489	△ 3.6	0.0	
名 古 屋 市	19,905	19,281 (18,653)	96.9 (93.7)	△ 836	△ 4.0	△ 790	△ 3.9	0.1	
尾 張 地 域	25,865	24,997 (24,196)	96.6 (93.5)	△ 1,118	△ 4.1	△ 1,094	△ 4.2	△ 0.1	
西三河地域	15,547	15,003 (14,085)	96.5 (90.6)	△ 545	△ 3.4	△ 296	△ 1.9	△ 0.1	
東三河地域	7,937	7,672 (7,508)	96.7 (94.6)	△ 333	△ 4.0	△ 309	△ 3.9	0.1	

注:( )書きは通信制課程進学者を除きます。

## イ 専修学校（高等課程）進学者数

専修学校（高等課程）進学者数は185人（男子88人、女子97人）で、前年に比べ6人（△3.1%）減少しており、卒業者数の0.3%（男子0.2%、女子0.3%）を占めています。（表2-1, 2-3, 統計表第47表）

## ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は93人（男子39人、女子54人）で、前年に比べ4人（△4.1%）減少しています。

入学先をみると、専修学校（一般課程）が30人、各種学校が63人で、前年に比べ専修学校（一般課程）が4人（15.4%）増加、各種学校が8人（△11.3%）減少しています。

卒業者数に占める割合は0.1%（男子0.1%、女子0.2%）で、このうち専修学校（一般課程）が0.0%、各種学校が0.1%となっています。（表2-1, 2-3, 統計表第47表）

## エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は78人（男子66人、女子12人）で、前年に比べ8人（11.4%）増加しており、卒業者数の0.1%（男子0.2%、女子0.0%）を占めています。（表2-1, 2-3, 統計表第47表）

表2-3 専修学校（高等課程）進学者数等の推移（中学校）

単位：人

区 分	専修学校 （高等課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校 （一般課程）	各種学校	公共職業能力 開発施設等
平成13年3月	230	169	40	129	128
14	347	176	57	119	86
15	195	123	50	73	91
16	191	97	26	71	70
17	185	93	30	63	78

## オ 就職者総数

就職者総数は916人（男子683人、女子233人）で、前年に比べ32人（3.6%）増加しています。

就職率は1.3%で、前年に比べ0.1ポイント上昇し、男女別にみると、男子が1.9%、女子が0.7%で、前年に比べ男子、女子ともに0.1ポイント上昇となっています。

なお、全国平均は0.7%となっています。（表2-1, 図2-2, 統計表第47表）

就職先を産業別にみると、第1次産業が11人（構成比1.2%）、第2次産業が523人（同57.1%）、第3次産業が350人（同38.2%）となっており、構成比を前年と比べると、第1次産業は1.6ポイント低下、第2次産業は6.2ポイント低下、第3次産業は6.1ポイント上昇しています。

就職先を県内・県外別にみると、県内が887人（構成比96.8%）、県外が29人（同3.2%）となっています。県内就職率96.8%（全国第4位）は、前年と比べ1.3ポイント低下しています。

（表2-4, 統計表第48表）

図2-2 愛知県と全国の就職率の推移（中学校）

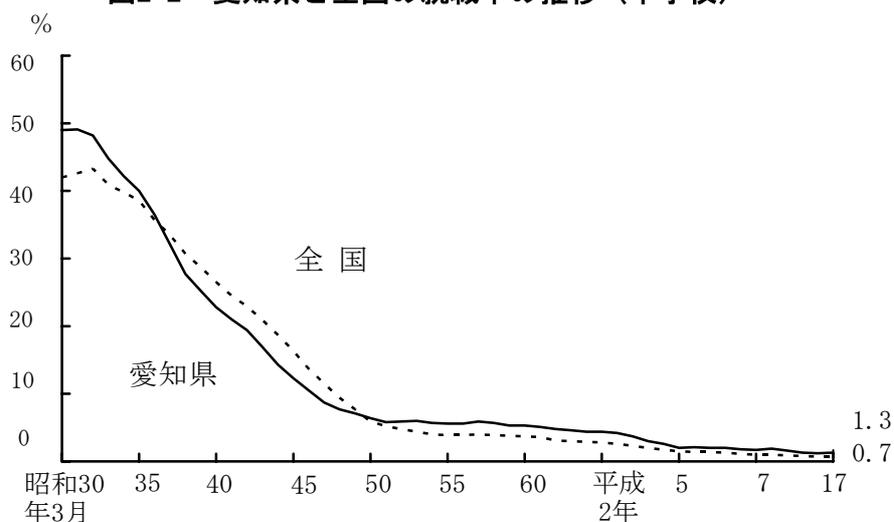


表2-4 産業別・県内県外別就職者数（中学校）

単位：人，%

区分	平成17年3月					平成16年3月				
	総数	構成比	対前年増減率	男	女	総数	構成比	対前年増減率	男	女
総数	916	100.0	3.6	683	233	884	100.0	△ 7.9	665	219
第1次産業	11	1.2	△ 56.0	11	-	25	2.8	△ 19.4	20	5
第2次産業	523	57.1	△ 6.6	463	60	560	63.3	0.0	489	71
第3次産業	350	38.2	23.2	190	160	284	32.1	△ 17.2	145	139
上記以外のもの	32	3.5	113.3	19	13	15	1.7	△ 42.3	11	4
県内	887	96.8	2.3	656	231	867	98.1	△ 7.3	654	213
県外	29	3.2	70.6	27	2	17	1.9	△ 32.0	11	6

## 2 高等学校

### (1) 卒業生数

卒業生数は 64,020 人（男子 31,988 人、女子 32,032 人）で、前年に比べ 1,333 人（△2.0%）減少しました。

進路別にみると、大学等進学者 34,659 人（構成比 54.1%）、就職者 11,354 人（同 17.7%）、専修学校（専門課程）進学者 9,866 人（同 15.4%）、専修学校（一般課程）等入学者 4,319 人（同 6.7%）、左記以外の者 2,828 人（同 4.4%）、一時的な仕事に就いた者 862 人（同 1.3%）、公共職業能力開発施設等入学者 132 人（同 0.2%）の順となっています。

なお、大学等進学者のうち就職している者 5 人（卒業生数の 0.0%）、専修学校（専門課程）進学者のうち就職している者 18 人（同 0.0%）、専修学校（一般課程）等入学者のうち就職している者 13 人（同 0.0%）を含む就職者総数は、11,390 人となっています。（表 2-5, 統計表第 49 表）

## (2) 進路状況

### ア 大学等進学者数

大学等進学者数は 34,659 人（男子 17,153 人、女子 17,506 人）で、前年に比べ 735 人（2.2%）増加しています。

進学先をみると、大学（学部）29,669 人（大学等進学者数の 85.6%）、短期大学（本科）4,869 人（同 14.0%）の順となっています。

大学等進学率は 54.1%（全国第 5 位）で、前年に比べ 2.2 ポイント上昇となりました。男女別にみると、男子が 53.6%、女子が 54.7%で、前年に比べ男子が 2.5 ポイント、女子が 2.0 ポイントそれぞれ上昇しています。なお、全国平均は 47.3%（男子 45.9%、女子 48.6%）となっています。

（表 2-5、図 2-3、統計表第 50 表）

地域別にみると、尾張地域が 57.4%と最も高く、次いで名古屋市 54.0%、西三河地域 51.5%、東三河地域 50.0%の順となっています。（表 2-6）

表2-5 進路別卒業生数（高等学校）

単位：人，%

区 分	平成 17 年 3 月			平成 16 年 3 月		
	人数	構成比	対前年増減率	人数	構成比	対前年増減率
総 数 (A+B+C+D+E+F+G+H)	64,020	100.0	△ 2.0	65,353	100.0	△ 2.7
A 大学等進学者	34,659	54.1	2.2	33,924	51.9	△ 1.3
大学（学部）	29,669	46.3	3.4	28,702	43.9	△ 0.6
短期大学（本科）	4,869	7.6	△ 4.7	5,109	7.8	△ 5.2
大学・短期大学の 通信教育部及び放送大学	17	0.0	21.4	14	0.0	△ 33.3
その他	104	0.2	5.1	99	0.2	△ 12.4
B 専修学校（専門課程）進学者	9,866	15.4	△ 8.4	10,768	16.5	△ 2.4
C 専修学校（一般課程）等入学者	4,319	6.7	△ 15.2	5,094	7.8	△ 10.9
専修学校（一般課程・高等課程）	271	0.4	36.9	198	0.3	△ 10.4
各 種 学 校	4,048	6.3	△ 17.3	4,896	7.5	△ 10.9
D 公共職業能力開発施設等入学者	132	0.2	△ 8.3	144	0.2	1.4
E 就 職 者	11,354	17.7	2.9	11,037	16.9	0.9
F 一時的な仕事に就いた者	862	1.3	△ 22.8	1,117	1.7	-
G 上記以外の者、H 死亡・不詳	2,828	4.4	△ 13.5	3,269	5.0	△ 33.8
再 Aのうち就職している者	5	0.0	△ 16.7	6	0.0	50.0
Bのうち就職している者	18	0.0	28.6	14	0.0	7.7
Cのうち就職している者	13	0.0	225.0	4	0.0	△ 75.0
掲 Dのうち就職している者	-	0.0	0.0	0	0.0	0.0
大学等入学志願者	39,790			40,173		
大学等進学率	54.1			51.9		
男	53.6			51.1		
女	54.7			52.7		
通信教育部を除く 大学等進学率	54.1			51.9		
男	53.6			51.1		
女	54.6			52.7		
就 職 率	17.8			16.9		
男	19.6			18.4		
女	16.0			15.4		

注：大学等入学志願者とは、大学（学部）及び短期大学（本科）の入学志願者の合計です。

図2-3 愛知県と全国の大学等進学率の推移（高等学校）

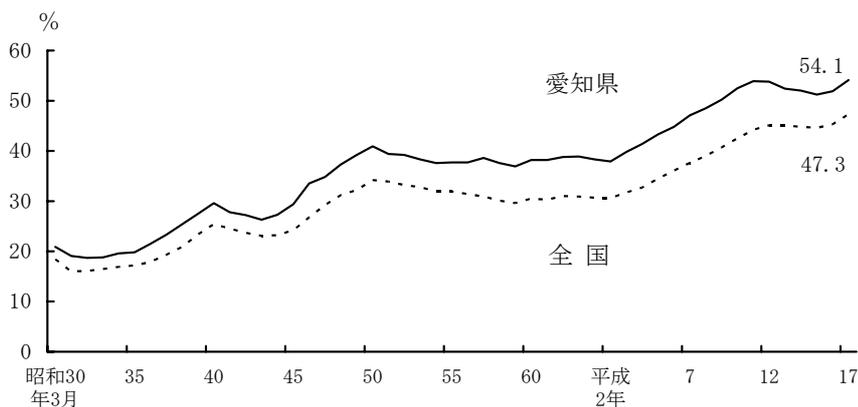


表2-6 地域別大学等進学者数（高等学校）

単位：人，％，ポイント

区 分	卒業生数	大学等 進学者数	大学等 進学率	対 前 年 増 減					
				卒 業 者 数		大学等進学者数		大学等 進学率	
				実 数	率	実 数	率		
総 数	64,020	34,659 (34,642)	54.1 (54.1)	△ 1,333	△ 2.0	735	2.2	2.2	
名古屋市	21,710	11,725 (11,715)	54.0 (54.0)	△ 588	△ 2.6	503	4.5	3.7	
尾張地域	21,335	12,241 (12,236)	57.4 (57.4)	△ 1,145	△ 5.1	104	0.9	3.4	
西三河地域	13,717	7,061 (7,060)	51.5 (51.5)	△ 860	△ 5.9	△ 293	△ 4.0	1.1	
東三河地域	7,258	3,632 (3,631)	50.0 (50.0)	△ 541	△ 6.9	△ 38	△ 1.0	2.9	

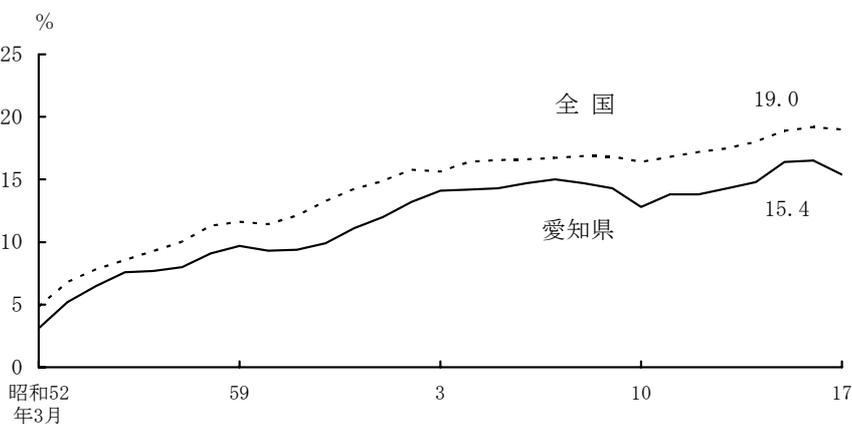
注：（ ）書きは通信教育部進学者を除きます。

### イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は、9,866人（男子3,965人、女子5,901人）で、前年に比べ902人（△8.4%）減少しており、卒業生数の15.4%（男子12.4%、女子18.4%）を占めています。

（表2-5, 2-7, 図2-4, 統計表第50表）

図2-4 専修学校（専門課程）進学率の推移（高等学校）



## ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は、4,319人（男子2,953人、女子1,366人）で、前年に比べ775人（△15.2%）減少しています。

入学先をみると、専修学校（一般課程・高等課程）271人、各種学校4,048人となっています。

これを前年と比べると、専修学校（一般課程・高等課程）が73人（36.9%）増加、各種学校が848人（△17.3%）減少しています。

卒業者数に占める割合は6.7%（男子9.2%、女子4.3%）で、このうち専修学校（一般課程・高等課程）等が0.4%、各種学校が6.3%となっています。（表2-5, 2-7, 統計表第50表）

## エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は、132人（男子120人、女子12人）で、前年に比べ12人（△8.3%）減少しており、卒業者数の0.2%（男子0.4%、女子0.0%）を占めています。

（表2-5, 2-7, 統計表第50表）

表2-7 専修学校（専門課程）進学者数等の推移（高等学校）

単位：人

区 分	専修学校 （専門課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校 （一般課程・高等課程）	各種学校	公共職業能力 開発施設等
平成13年3月	9,646	5,838	300	5,538	124
14	10,210	5,920	205	5,715	126
15	11,036	5,714	221	5,493	142
16	10,768	5,094	198	4,896	144
17	9,866	4,319	271	4,048	132

## オ 就職者総数

就職者総数は、11,390人（男子6,268人、女子5,122人）で、前年に比べ329人（3.0%）増加しています。

就職率は17.8%で、前年に比べ0.9ポイント上昇し、男女別にみると、男子が19.6%、女子が16.0%で、前年に比べ男子が1.2ポイント、女子が0.6ポイントそれぞれ上昇しています。

なお、全国平均は17.4%となっています。（表2-5, 統計表第50表）

就職先を産業別にみると、製造業6,670人（構成比58.6%）、卸売・小売業1,274人（同11.2%）、サービス業856人（同7.5%）の順となっています。（図2-5, 統計表第51表）

職業別にみると、生産工程・労務作業者6,644人（構成比58.3%）、事務従事者1,555人（同13.7%）の順となっています。これを男女別にみると、男子は生産工程・労務作業者が4,865人（同77.6%）で就職者の7割以上を占めています。女子は生産工程・労務作業者が1,779人（同34.7%）、事務従事者が1,439人（同28.1%）の順となり、この2業種で就職者の5割以上を占めています。（表2-9, 統計表第52表）

なお、就職先を県内県外別にみると、県内が11,115人（構成比97.6%）、県外が275人（同2.4%）となっています。県内就職率97.6%（全国第1位）は、前年に比べ0.2ポイント上昇しています。（表2-8）

## カ 一時的な仕事に就いた者

一時的な仕事に就いた者は 862 人で、前年に比べ 255 人（△22.8%）の減少となり、卒業者に占める割合は 1.3%となりました。

図2-5 産業別就職者数

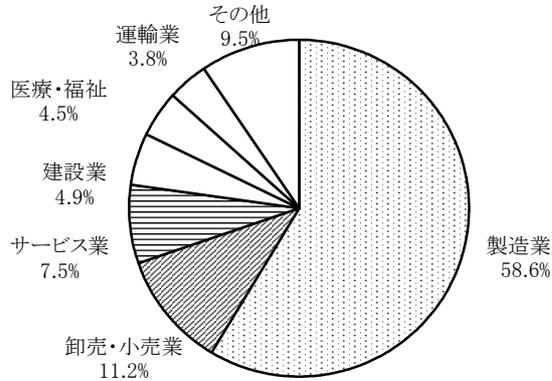


表 2-8 職業別・県内県外別就職者数（高等学校）

単位:人, %

区 分	平成 17 年 3 月					平成 16 年 3 月				
	総 数	構 成 比	対前年 増減率	男	女	総 数	構 成 比	対前年 増減率	男	女
総 数	11,390	100.0	3.0	6,268	5,122	11,061	100.0	0.8	6,022	5,039
専門的・技術的職業従事者	480	4.2	34.8	288	192	356	3.2	50.2	177	179
事務従事者	1,555	13.7	6.6	116	1,439	1,459	13.2	△ 10.3	90	1,369
販売従事者	921	8.1	△ 12.0	263	658	1,046	9.5	8.3	336	710
サービス職業従事者	1,226	10.8	△ 15.2	311	915	1,445	13.1	△ 10.6	357	1,088
生産工程・労務作業	6,644	58.3	7.0	4,865	1,779	6,208	56.1	4.5	4,665	1,543
その他	564	5.0	3.1	425	139	547	4.9	△ 7.3	397	150
県 内	11,115	97.6	3.2	6,094	5,021	10,771	97.4	0.7	5,831	4,940
県 外	275	2.4	△ 5.2	174	101	290	2.6	5.1	191	99

### 3 通信制高等学校

#### (1) 卒業者数

卒業者数は、1,907人（男子1,366人、女子541人）で、平成15年度間に比べ101人（△5.0%）減少しています。進路別にみると、就職者が660人（構成比34.6%）と最も多く、専修学校（専門課程）進学者652人（同34.2%）、上記以外の者435人（同22.8%）、大学等進学者149人（同7.8%）、専修学校（一般課程）等入学者10人（同0.5%）、公共職業能力開発施設等入学者1人（同0.1%）の順となっています。

（表2-9、統計表第53表）

#### (2) 進路状況

##### ア 大学等進学者数

大学等進学者数は149人（男子106人、女子43人）となっています。

進学先をみると、大学（学部）が88人、短期大学（本科）が49人、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学が11人となっています。（表2-9、統計表第53表）

##### イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は652人（男子531人、女子121人）となっています。

（表2-9、統計表第53表）

##### ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は10人（男子8人、女子2人）で、進学先は専修学校（一般課程・高等課程）2人、各種学校8人となっています。

（表2-9、統計表第53表）

##### エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は1人（女子1人）となっています。

（表2-9、統計表第53表）

##### オ 就職者総数

就職者総数は660人（男子492人、女子168人）となっています。

（表2-9、統計表第55表）

就職先を産業別にみると製造業321人（構成比47.7%）、卸売・小売業82人（同12.2%）、飲食店、宿泊業74人（同11.0%）、の順となっています。（統計表第54表）

就職先を職業別にみると、生産工程・労務作業者が371人（構成比55.1%）、サービス職業従事者が133人（同19.8%）、販売従事者が77人（同11.4%）の順となっています。

（統計表第55表）

表2-9 進路別卒業者数（通信制高等学校）

単位：人、%

区 分		平成16年度間		平成15年度間	
		数	構成比	数	構成比
総 数		1,907	100.0	2,008	100.0
A	大 学 等 進 学 者	149	7.8	188	9.4
	大 学（学 部）	88	4.6	96	4.8
	短 期 大 学（本 科）	49	2.6	82	4.1
	大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	11	0.6	10	0.5
	そ の 他	1	0.1	-	0.0
B	専 修 学 校（専 門 課 程）進 学 者	652	34.2	722	36.0
C	専 修 学 校（一 般 課 程）等 入 学 者	10	0.5	11	0.5
	専 修 学 校（一 般 課 程・高 等 課 程）	2	0.1	2	0.1
	各 種 学 校	8	0.4	9	0.4
D	公 共 職 業 能 力 開 発 施 設 等 入 学 者	1	0.1	1	0.0
E	就 職 者	660	34.6	635	31.6
F・G	上 記 以 外 の 者、死 亡・不 詳	435	22.8	451	22.5
再 掲	A の うち 就 職 して いる 者	6	0.3	5	0.2
	B の うち 就 職 して いる 者	7	0.4	1	0.0
	C の うち 就 職 して いる 者	-	0.0	1	-
	D の うち 就 職 して いる 者	-	0.0	-	-

#### 4 大 学 (学部)

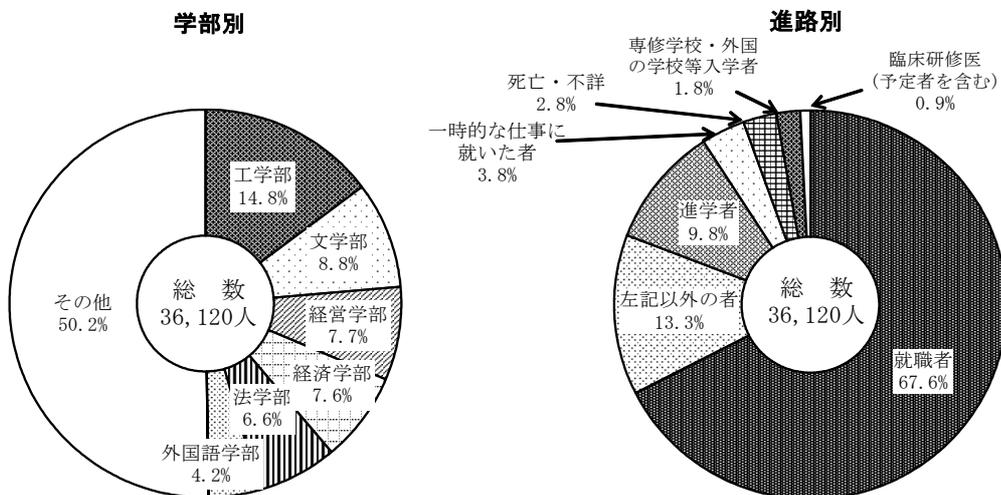
##### (1) 卒業生数

卒業生数は、36,120人（男子19,994人、女子16,126人）で、前年に比べ777人（△2.1%）減少しています。

学部別にみると、工学部が5,326人（構成比14.8%）と最も多く、次いで文学部3,184人（同8.8%）、経営学部2,786人（同7.7%）、経済学部2,760人（同7.6%）、法学部2,392人（同6.6%）の順となっています。

進路別にみると、就職者が24,406人（構成比67.6%）、左記以外の者が4,810人（同13.3%）、進学者が3,548人（同9.8%）、一時的な仕事に就いた者が1,364人（同3.8%）、死亡・不詳が1,006人（同2.8%）、専修学校・外国の学校等入学者が644人（同1.8%）、臨床研修医（予定者を含む）が342人（同0.9%）となっています。（図2-6, 統計表第56表）

図2-6 学部別、進路別卒業の割合（大学）



##### (2) 就職者総数

就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は、24,406人（男子12,965人、女子11,441人）で、前年に比べ男子が324人（2.6%）、女子が1,044人（10.0%）それぞれ増加しています。

就職率は67.6%で、前年に比べ5.2ポイント上昇しています。男女別にみると、男子が64.8%、女子が70.9%で、前年に比べ男子が5.1ポイント、女子が4.8ポイントそれぞれ上昇しています。（表2-10）

学部別にみると、看護学部(94.2%)、経営情報科学部(86.3%)、総合経営学部(84.3%)、衛生学部(83.9%)などが高くなっているのに対し、医学部（専門課程）（就職者なし）、理学部(24.9%)、歯学部（専門課程）(26.4%)、美術学部(28.8%)などが低くなっています。（統計表第56表）

表2-10 就職率の推移（大学）

単位：％、ポイント

区 分	総 数	対前年増減	男	対前年増減	女	対前年増減
平成13年3月	61.2	1.4	58.6	1.3	65.1	1.6
14	62.7	1.5	59.7	1.1	66.9	1.8
15	61.2	△ 1.5	58.0	△ 1.7	65.7	△ 1.2
16	62.4	1.2	59.7	1.7	66.1	0.4
17	67.6	5.2	64.8	5.1	70.9	4.8

## 5 大学院

### (1) 卒業生数

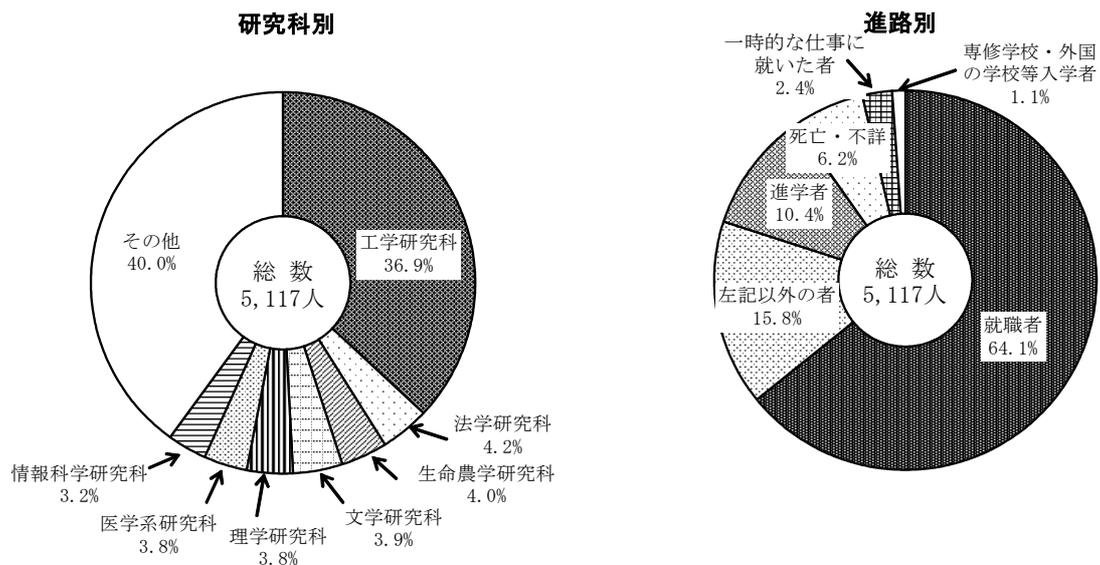
卒業生数は、5,117人（男子3,686人、女子1,431人）で、前年に比べ129人（2.6%）増加しています。

課程別にみると、修士課程（修士課程及び博士前期課程）が4,283人、博士課程（博士後期課程及び医・歯学の博士課程）が834人となっています。これを前年と比べると、修士課程が151人（3.7%）増加、博士課程が22人（△2.6%）減少しています。

研究科別にみると、工学研究科が1,890人（構成比36.9%）と最も多く、次いで法学研究科214人（同4.2%）、生命農学研究科205人（同4.0%）、文学研究科202人（同3.9%）、理学研究科197人（同3.8%）の順となっています。

進路別にみると、修士課程では就職者が2,846人（修士課程卒業生の66.4%）、左記以外の者が587人（同13.7%）、進学者が532人（同12.4%）、死亡・不詳が226人（同5.3%）となっており、博士課程では就職者が433人（博士課程卒業生の51.9%）、左記以外の者が224人（同26.9%）、死亡・不詳が89人（同10.7%）、一時的な仕事に就いた者が63人（同7.6%）となっています。（図2-7、統計表第59表）

図2-7 研究科別、進路別卒業生の割合（大学院）



### (2) 就職者総数

就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は3,292人（男子2,608人、女子684人）で、前年に比べ男子が82人（3.2%）、女子が41人（6.4%）それぞれ増加しています。

就職率は64.3%で、前年に比べ0.8ポイント上昇しています。

課程別にみると、修士課程が66.8%、博士課程が51.9%となっています。これを前年と比べると、修士課程が0.6ポイント、博士課程が1.2ポイントそれぞれ上昇しています。

研究科別にみると、ビジネス・イノベーション研究科（100.0%）、数理工学情報研究科（100.0%）、人間科学研究科（100.0%）、物理科学研究科（100.0%）、農学研究科（94.4%）、歯学研究科（92.0%）などが高いのに対し、国際文化研究科、社会学研究科、マネジメント研究科、健康科学研究科は就職者がありませんでした。（統計表第59表）

## 6 短期大学（本科）

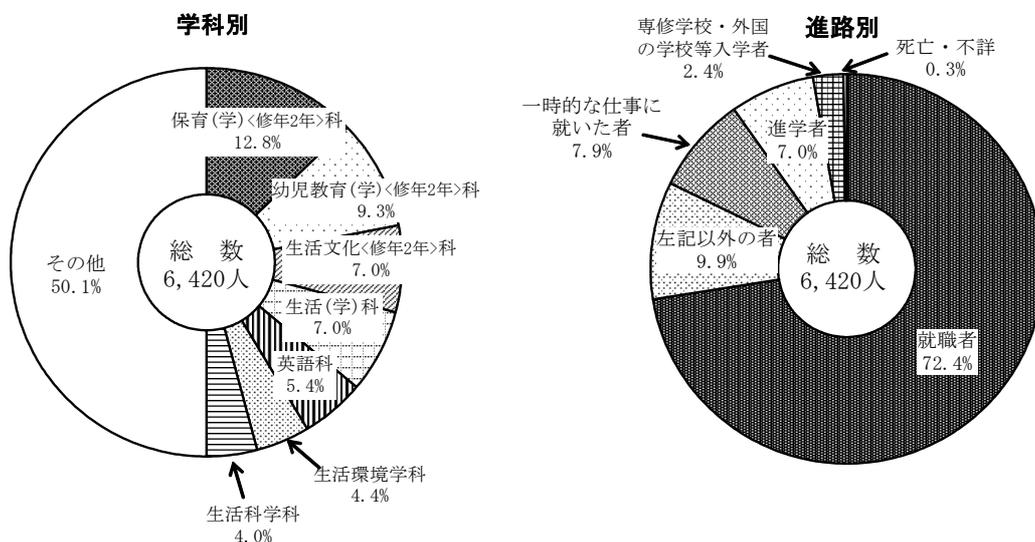
### (1) 卒業生数

卒業生数は、6,420人（男子459人、女子5,961人）で、前年に比べ394人（△5.8%）減少しています。

学科別にみると、保育(学)〈修年2年〉科が819人（構成比12.8%）と最も多く、次いで幼児教育(学)〈修年2年〉科が598人（同9.3%）、生活文化〈修年2年〉科が452人（同7.0%）、生活(学)科が451人（同7.0%）の順となっています。

進路別にみると、就職者が4,649人（構成比72.4%）、左記以外の者が638人（同9.9%）、一時的な仕事に就いた者が509人（同7.9%）、進学者が449人（同7.0%）、専修学校・外国の学校等入学者が156人（同2.4%）、死亡・不詳が19人（同0.3%）となっています。（図2-8, 統計表第62表）

図2-8 学科別、進路別卒業生の割合（短期大学・本科）



### (2) 就職者総数

就職者総数は4,649人（男子295人、女子4,354人）で、前年に比べ男子が41人（16.1%）増加、女子が162人（△3.6%）減少しています。

就職率は72.4%で、前年に比べ2.4ポイント上昇しています。男女別にみると、男子が64.3%、女子は73.0%となっています。これを前年と比べると、男子が3.3ポイント低下、女子が2.9ポイント上昇しています。（表2-11）

学科別にみると、食物栄養科（92.7%）、経営実務科（92.2%）、現代幼児学〈修年2年〉科（89.9%）、人間福祉学科（89.8%）などが高いのに対し、情報国際科（就職者なし）、人間文化科（7.4%）、経営科（15.2%）、現代コミュニケーション科（48.0%）などが低くなっています。（統計表第62表）

表2-11 就職率の推移（短期大学）

区 分	総 数	対前年増減	単位：％、ポイント			
			男	対前年増減	女	対前年増減
平成13年3月	66.6	4.0	57.3	8.9	67.3	3.6
14	67.9	1.3	59.0	1.7	68.4	1.1
15	67.9	0.0	66.3	7.3	68.0	△ 0.4
16	70.0	2.1	67.6	1.3	70.1	2.1
17	72.4	2.4	64.3	△ 3.3	73.0	2.9

## 7 盲学校・聾学校・養護学校 中学部

卒業生数は、346人（盲学校7人、聾学校23人、養護学校316人）で、進路別にみると、高等学校等進学者が336人（構成比97.1%）、左記以外の者が9人（同2.6%）、死亡・不詳が1人（同0.3%）となっています。

（図2-9、統計表第66表）

高等学校等進学者を学校種別にみると、盲学校が7人、聾学校が23人、養護学校が306人となっています。（統計表第66表）

## 8 盲学校・聾学校・養護学校 高等部

卒業生数は、702人（盲学校13人、聾学校38人、養護学校651人）で、進路別にみると、左記以外の者が395人（同56.3%）、就職者242人（構成比34.5%）、大学等進学者26人（同3.7%）、公共職業能力開発施設等入学者22人（同3.1%）、死亡・不詳が13人（同1.9%）、専修学校（専門課程）進学者4人（同0.6%）となっています。（図2-10、統計表第67表）

大学等進学者を学校種別にみると、盲学校5人、聾学校17人、養護学校4人となっており、進学先は大学（学部）へ盲学校1人、聾学校2人、養護学校3人、短期大学（本科）へ聾学校5人、盲・聾・養護学校高等部専攻科へ盲学校4人、聾学校10人、養護学校1人となっています。（統計表第68表）

専修学校（専門課程）進学者を学校種別にみると、聾学校3人、養護学校1人となっています。（統計表第67表）

公共職業能力開発施設等入学者を学校種別にみると、盲学校1人、養護学校21人となっています。（統計表第67表）

就職者を学校種別にみると、盲学校2人、聾学校16人、養護学校224人で、産業別にみると、製造業145人（構成比59.9%）、サービス業32人（同13.2%）、卸売・小売業25人（同10.3%）の順となっています。（統計表第69表）

図2-9 進路別卒業生の割合（中等部）

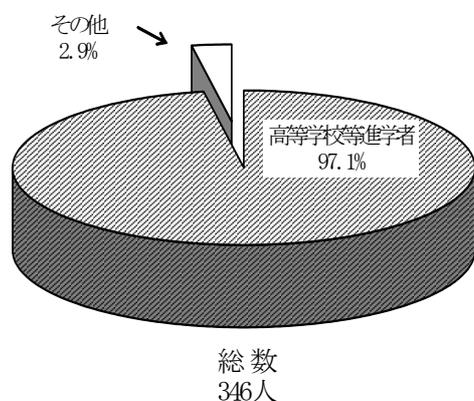
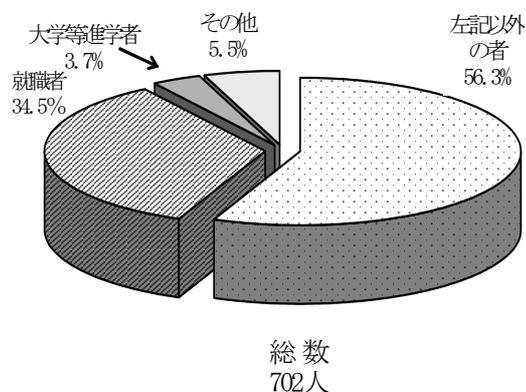


図2-10 進路別卒業生の割合（高等部）



### Ⅲ 不就学学齢児童生徒調査

平成 16 年度間に市町村教育委員会から就学の免除又は就学の猶予を受けている者は、学齢児童（6～11 歳）が就学免除者 2 人、就学猶予者 73 人、学齢生徒（12～14 歳）が就学免除者 0 人、就学猶予者 21 人となっています。（表 3-1, 統計表第 71 表）

理由別にみると、学齢児童の就学免除者は、肢体不自由が 1 人、その他が 1 人となっており、就学猶予者は肢体不自由 2 人（就学猶予者数の 2.7%）、知的障害 1 人（同 1.4%）、その他 70 人（同 95.9%）となっています。また、学齢生徒の就学猶予者は児童自立支援施設又は少年院にいるため 4 人（同 19.0%）、その他 17 人（同 81.0%）となっています。（図 3-1, 統計表第 71 表）

1 年以上居所不明者は 34 人で、前年度間に比べ 2 人（△5.6%）減少しています。

学齢児童は 27 人、学齢生徒は 7 人で、前年度間に比べ学齢児童は 2 人（△6.9%）減少、学齢生徒は同数となっています。（統計表第 71 表）

平成 16 年度間の児童・生徒の死亡者数は 62 人で、前年度間に比べ 14 人（29.2%）増加しています。

児童・生徒別にみると、学齢児童は 32 人、学齢生徒は 30 人で、前年度間に比べ学齢児童は 6 人（23.1%）増加、学齢生徒は 8 人（36.4%）増加しています。（統計表第 72 表）

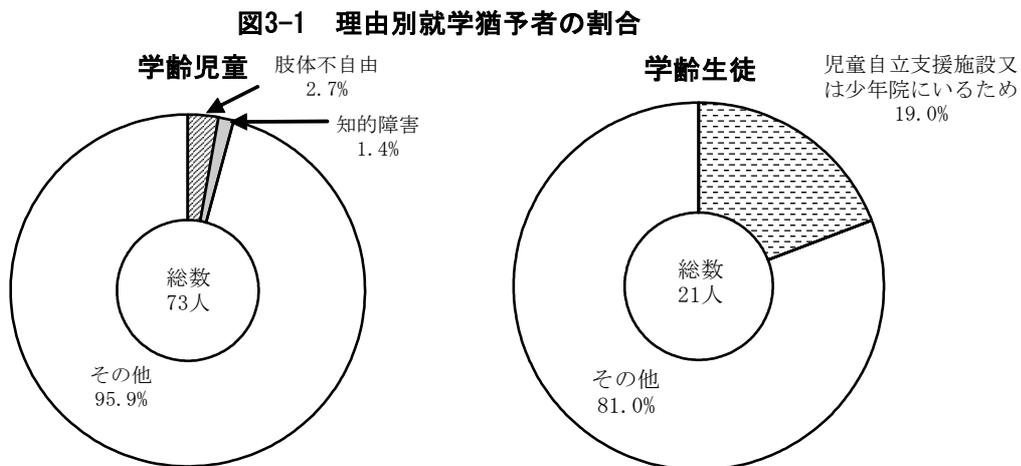


表3-1 不就学学齢児童生徒数の推移

単位：人，%

区 分	総 数		就 学 免 除 者				就 学 猶 予 者			
			学 齢 児 童		学 齢 生 徒		学 齢 児 童		学 齢 生 徒	
			対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		
平成12年度間	31	63.2	2	100.0	-	-	22	69.2	7	133.3
13	63	103.2	2	0.0	-	-	43	95.5	18	157.1
14	73	15.9	1	△ 50.0	1	-	55	27.9	16	△ 11.1
15	87	19.2	1	0.0	-	-	63	14.5	23	43.8
16	96	10.3	2	100.0	-	-	73	15.9	21	△ 8.7